

テーション活動 ～困窮する現場の支援とよりよい職員間コミュニケーションをめざして～と題してご講演を賜りました。院内で起きる各種の倫理的な問題に迅速に対応する新たな取り組みである倫理コンサルテーションチームに関してのお話で、北海道内ではまだ取り組まれている分野であり大変意義のある講演でした。

今回のお忙しい中、学術集会に出席して頂いた皆様、並びに準備・運営に協力頂いた当院職員諸氏に感謝し、開催報告と御礼とさせていただきます。

第10回三重支部学術集会

学術集会会長：三重中央医療センター臨床研究部長 山本初実



会場風景

第10回日本医療マネジメント学会三重支部学術集会は2016年10月15日(土)にアスト津、アストホールにおいて開催されました。今回は第10回の

記念学術集会として「これからの三重の医療マネジメントを考える」をメインテーマに三重支部事務局の三重中央医療センター、山本初実臨床研究部長を学術集会会長として開催されました。当日は県内の医療機関から86名の参加があり、13題の一般演題の他、パネルディスカッション及び特別講演が行われました。パネルディスカッションは第10回記念として企画され、「三重の医療マネジメント」について県内の各分野に精通したパネラーが討論を行いました。特別講演では第1回の講演をお願いした日本医療マネジメント学会理事長の宮崎久義先生による「医療マネジメントのポイントー学会活動を通してー」と題した講演が行われ学会活動の経過を通して医療マネジメントのポイントを判り易くお話しいただきました。最後に本会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

分科会開催案内

2016年度 医療連携分科会

テーマ：診療報酬改定と地域連携

2016年の診療報酬改定では「地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携」が基本的視点として取り上げられ、7対1の要件適正化と退院支援加算1の導入がなされました。2016年改定が一段落したところですが、すでに2018年の診療報酬・介護報酬同時改定の議論が始まっています。

今回の分科会では2016年の診療報酬改定が地域連携

に与えた影響を振り返りながら、2018年の同時改定を展望したいと思います。

御参加をお待ち致します。

- ・日時 2017年2月18日(土)10:30～16:00
- ・場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム

- 9:30 受付開始
- 10:30 開会
日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義
- 10:45～11:30 基調講演1
「2018年同時改定と地域連携」
厚生労働省保険局長 鈴木康裕
- 11:30～12:30 基調講演2
「生活にもどすための多職種連携」
四国医療産業研究所・所長、
日本医師会総合政策研究機構・客員研究員 櫃本真幸
- 12:30～13:30 休憩
- 13:30～14:00 講演1
「急性期病院と地域連携」
株式会社麻生飯塚病院・院長 増本陽秀
- 14:00～14:30 講演2
「地域包括ケア病棟と地域連携」
社会医療法人石川記念会HITO病院理事長・病院長 石川賀代
- 14:30～15:00 講演3
「退院支援加算1と地域連携」
日本医科大学付属病院副院長・看護部長 鈴木 智恵子
- 15:00～15:20 講演4
「地域連携人材の養成、「医療福祉連携士」について」
一般財団法人広南会広南病院神経内科医師、医療福祉連携士の会長
(医療福祉連携士4期生) 中村起也
- 15:20～15:30 休憩
- 15:30～16:00 パネルディスカッション
「2025年へ向けて医療と介護の連携を考える」
司会 国際医療福祉大学大学院
医療福祉経営学専攻教授 武藤正樹
演者 株式会社麻生飯塚病院・院長 増本陽秀
社会医療法人石川記念会HITO病院理事長・病院長 石川賀代
日本医科大学付属病院副院長・看護部長 鈴木 智恵子
一般財団法人広南会広南病院神経内科医師、医療福祉連携士の会長
(医療福祉連携士4期生) 中村起也
- 16:00 閉会(予定)

〈募集要項〉

- 会費 5,000円(但し、学会非会員 10,000円)
- 定員 200名(定員を満たし次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込み下さい)
- 受付期間 2016年12月1日(木)～2017年1月13日(金)
- 問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局